

令和7年度 東小学校 学校経営方針

◇ 学校教育目標	やさしさ 元気 夢 いっぱい
◇ 目指す子供像	「やってみたい」と考え、ともに動く子 ・「やさしい子」 …自他の良さがわかる子 ・「元気な子」 …自他の命を大切にする子 ・「進んで学習する子」 …自分の未来を思い描き努力する子

1 令和6年度を振り返って

- ◎チーム東小（同僚性・協働） ◎キャリア教育 ○授業研究・授業改善（指定研究）
- ◎生徒指導対応 ○個への対応（発達支援教育） ○いじめ防止
- けがの防止（落ち着いた生活）
- ICT教育の推進（○情報モラル教育、インシデント対応） ○ピア・サポート ○道徳教育
- ◎学校行事等の見直し（運動会、家庭確認の実施、面談時期・実施方法、学習発表会）
- 情報発信（通信、ブログ等）
- 働き方改革 ◎CS（コミュニティスクール）の運営

2 令和7年度への思い

全ての教育活動が、目指す子供の姿具現のため、そして学校教育目標達成のためにつながることを絶えず意識して

☆ いじめや不登校が生まれにくい、温かな学校・学級風土づくりを目指す

…いじめは、どこでも起こりうるというスタンスに立ちながらも、いじめを未然防止するために「どの子にも居場所がある」「仲間から認めてもらえる」という安心感を醸成していく。

※心理的安全性が確保された学級づくり、ピア・サポート活動

※発達学級未設置校であるが故の、包摂性をより大切にした集団づくり

※一部教科担任制を実施することで授業の充実のみならず、そのベースとなる学級経営や生徒指導を共有し、温かな学校・学級風土づくりに生かす。

☆ 子供も先生も楽しい授業を

…授業は、すべての児童を対象とした発達支持的生徒指導の場となる。教員が学習指導と生徒指導の専門性を合わせもつという日本型学校教育の強みを活かした授業作りが児童の発達を支える。そこでは、自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成を意識した実践を目指す。

☆ 学習指導要領に沿った教育活動の充実

- …キャリア教育との関連性を整理して、各教科の特性を追求する。
 - ※自分を「見つめ」、自己を理解することで、自身の課題や、自分がやってみたいことを見つけ、取り組む。
 - ※「社会とつながる学び」と「将来につながる表れ」の意味付け
切実感のある学習課題・学習内容→「やってみたい」
 - ※「主体的・対話的で深い学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」の視点からの授業改善
→心理的安全性が確保された学級づくり、ピア・サポート
 - ※教科等横断的な学習を通して学習の深化を図る。
- …「教科担任制」を無理なく導入する。(できることを、できる範囲で)

☆ キャリア教育の推進（◎カリキュラムマネジメントを意識した計画と実践）

- … 児童の成長と変容を見通したカリキュラム編成
 - ※分掌主任や担当責任者の意識改革
- … 特別活動を核とした年間指導計画の運用と修正
 - ※特別活動の意義、価値を問う。(キャリア・パスポートの視点から)

☆ 地域とのつながりの見直し（保護者・地域とともに）

- … 「相互利益」が生まれる関係(Win-Win)にすることを目指して進める。
- … コミュニティスクールの活動は、子供の成長のために
- … これまでの「財産」の活用 → C Sのコンセプトとのすり合わせ
 - ※P T A、ボランティア、地域の人材等をどう活かすか。
- … 組織、担当の見直し、調整を進める。
- … C Sの取り組みの全職員への周知

☆ タブレット等、ICT機器の活用（教育の情報化）

- … 「どの活動で」「何に」「どこで」「どのように」使えるか。
 - ※情報の共有・蓄積をする
- … 持続可能な運用方法を意識した取り組みの構築
- … 教育活動を効果的・効率的に進めるための「文房具」の1つとして活用していく。
- … 積極的な活用（アクセル）と情報モラル指導・情報インシデント対策（ブレーキ）の両方を重視していく

☆ 積極的な教育活動の発信

※発信状況の集約（重なりを抑え、継続的な形に）

- … 活動の意図、学校や教師の願い、子供の育ちを伝えていく。
- … 「地域に開かれた学校・地域とともにある学校」を意識した活動の立案、展開、子供の見取り、評価、振り返り
 - 教師の力量アップに活かす。
(授業力、企画力、児童理解力、発信力、情報収集力 等)
- … 保護者の教育活動への理解を深め、信頼・信用につなげる。

※学年・学級だけでなく、分掌担当の視点で学校を見つめ発信を（教務、生徒指導、特活、道徳、教科主任 等）

※職員各自が、様々な形で児童の育成や学校運営に寄与している意識を高める。

※ブログ等を戦略的に活用して、学校理解や地域家庭との協力体制を築いていく。

☆ 働き方改革の推進（早くても7時、遅くても18時30分）

… 短時間でより良い成果を上げる方法の探求をする。（計画性、協力体制、優先順位等）

※ただ、踏ん張るべき時、力を入れるべき時は、必要に応じて協力体制を整えながら、全力を注いで取り組む。

… コロナ禍での取組を踏まえた上で、学校規模に応じた教育活動の立案、計画、実践を進める。

※子供たちにとっては、より教育効果が高く、教職員にとっては必要以上の労力を要しない方法やスタイルを求めていく。

3 令和7年度の目指す子供の姿・重点目標……

「見つめる力」と「かかわる力」の育成に重点を置き、

「やってみたい」と考え、ともに動く子（目指す子供の姿）を

育むことを目指して

特別活動を要としたキャリア教育の推進と充実を図りながら

「知」「徳」「体」を関連付けた複合的なアプローチによる

教育活動を展開していく。

※「やってみたい」… 自分のために、誰かのために、みんなのために

※ みんな … 子供、教職員、保護者、地域の方々 等 （チーム東小）

学校生活では、

①自分から進んでする。②人のためになることをする。③好きなことをする。

◇一年間これだけはみんなで協力して推進しようという重点2つつ

○ やさしい子

- ・ R4 相手の顔を見て、元気よく挨拶や返事をする。
相手を思いやり、優しく接する。
- ・ R5 相手の顔を見て、時と場を考えた挨拶や返事をする。
互いの個性を認め合い、協力し合う。
- ・ R6 互いの顔を見て時と場にあった挨拶や返事をする。
互いの個性を認め合い、協力し合う。
- ・ R7 互いの顔を見て時と場にあった挨拶や返事をする。
互いの個性を認め合い、協力し合う。

○ 元気な子

- ・ R4 落ち着いた生活をする。目標に向かって、あきらめないで運動する。
- ・ R5 自分の心と体をコントロールし、落ち着いた生活をする。
目標に向かって、あきらめないで運動する。
- ・ R6 自分の心と体をコントロールし、落ち着いた生活をする。
目標に向かって、ともに励まし合い、あきらめないで運動する。
- ・ R7 自分の心と体をコントロールし、落ち着いた生活をする。
目標に向かって、ともに励まし合い、楽しく運動する。

○ 進んで学習する子

- ・ R4 学習や生活で課題を発見し、主体的に解決しようとする。できたこと・できなかったことを振り返り、次に生かすことができる。
- ・ R5 目標を決めて学習に取り組み、振り返りをし、次の活動への意欲につなげる。
相手の意見を最後まで聞き、自分の考えを深める。
- ・ R6 目標を決めて学習に取り組み、振り返りをし、次の活動の意欲につなげる。
相手の意見を最後まで聞き、自分の考えを深める。
- ・ R7 目標を決めて学習に取り組み、振り返りをし、次の活動の意欲につなげる。
相手の意見を最後まで聞き、自分の考えを深める。

4 教職員の心構え

◎教職員集団の同僚性を大切に

※組織的かつ効果的に教育活動を実践するための一番の基盤は、教職員同士が支え合い、学び合う同僚性が基盤となる。教職員同士が気軽に話ができる、困った時は相談に乗ってもらえる、お互い様の気持ちで助け合うことができる、時には仕事以外の話題に盛り上がりながら笑い合えるなど、明るく楽しい職場環境を作ることが、組織としての東小の学校力アップにつながる。

◎教室の多様性を前提とした上で、安心できる場となるよう、包摂性を大切にした学級づくりを行う。

※学級経営は、教育活動が円滑にその目的を果たすために諸条件を整備することである。学級という場で、授業も生活も行われるので、学級づくりも授業づくりも学級経営の一部分であると捉える。

※誰もが全力で考え、全力で対話できる安心感→教室の心理的安全性の確保

◎授業は、生徒指導と一体であるという意識で楽しい授業を目指す。

※授業を通して、自己肯定感や自己有用感を育む工夫

※共感的な人間関係を育成する授業

※自己決定の場を提供する授業づくり

◎カリキュラムマネジメントの視点から、自らの分掌や担当している活動の意義・役割を捉え、実践を進める。(見通し、振り返り、つながり)

※単独ではなく、様々な活動や学年、人とのつながりを意識して計画・実践する。

◎ 子供の特性やニーズを的確に捉えるとともに、保護者の思いや願いを踏まえて、個に寄り添う教育をする。※発達支援教育の理念を押さえて (共汗・共歓・共感)

◎「学習指導要領の実践  キャリア教育の実践」を目指して、授業改善に取り組む。
(たゆまぬ自己改革)

※特別活動(総合的な学習の時間)を核に据えた教科等横断的な学習への挑戦

※「どこまでつなげて見通しが立てられるか」がカギ。

※キャリア教育を前面に押し出した取組と教科学習にキャリアの視点からアプローチを仕掛ける取組を意識。

※学級単位における特別活動の意義、価値の確認(キャリア・パスポートを意識)

○ ICT を活用して、教育の情報化を展開するとともに個別最適な学習と協働的な学習の一体的充実を目指す。

※一人一台端末の積極的・効果的な活用

※計画的な情報モラル教育の推進